



## 秋空の下 ゴールを目指して力走 ～那須塩原ハーフマラソン～

11月3日、快晴の秋空の下、くろいそ運動場を発着点に那須塩原ハーフマラソンが開催されました。ハーフ、5km、1kmの各部で計1,703人が健脚を競い、1,379人が見事完走。北京オリンピック日本代表で活躍したゲストラナー・小林祐梨子さんが「一緒に頑張りましょう」と登場すると、盛大な拍手で迎えた参加者。表彰式では、見事総合優勝を果たした伊藤達志さんが「地元の大会で優勝できて光栄です」と声援に答えていました。



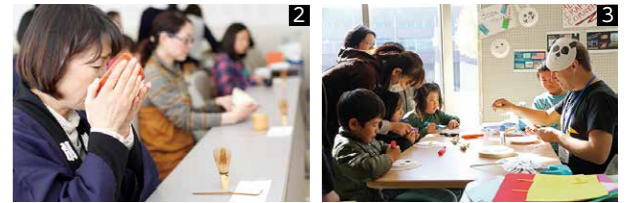
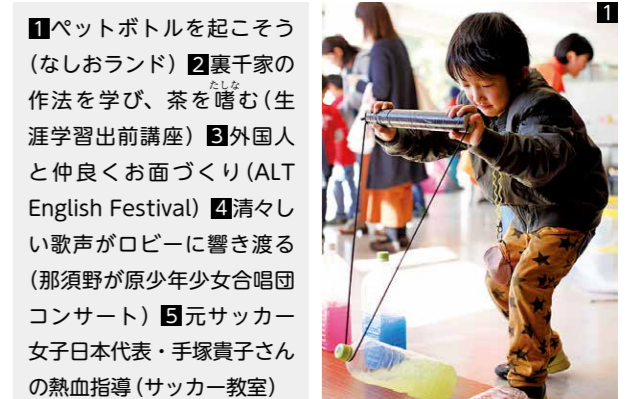
## さぁ おうちへ帰ろう ～八郎ヶ原放牧場・収牧～

足腰の丈夫な乳用牛の育成を目的に、市が湯本塩原で運営している八郎ヶ原放牧場。5月下旬に市内の酪農家から預かっていた87頭が立派に成長し、10月下旬、それぞれの実家に帰っていききました。東京ドーム11個分の広大な草原で、のびのびと過ごした牛たち。中には「まだ八郎ヶ原にいたいモ～」と駄々をこねる牛もいました。高原で繰り広げられた綱引きの結果は、迎えに来た飼い主さんが全勝でした。



## 大人も子どもも学びの祭典 ～なすしおばら まなび博覧会～

宇都宮共和大学那須キャンパスで11月12・13日、「なしお博」が開催されました。この催しは、市民の学習成果の発表・学びの場として、開催されるようになって3回目。開会式の教育功労者表彰(12ページ掲載)に始まり、児童生徒や公民館講座受講者などの作品展示のほか、地球温暖化を楽しく学ぶサイエンスショー、乗馬体験、メイク講座、高校生が読書の魅力を語る催しなどが行われ、来場者は、それぞれ興味のある「学び」を堪能していました。



## 五穀豊穡を願う激しい祭り ～嶽山箒根神社梵天上げ～

宇都野地区の嶽山箒根神社で、市の無形民俗文化財に指定されている梵天上げが行われました。この行事は、先端に竹かごをつけた根付きの竹に荒縄を巻き付けた「梵天」を、五穀豊穡のために奉納するもの。毎年11月23日に行われ、今年は宇都野や金沢地区などをはじめ、合計6本がもまれました。

若集らによって梵天が激しく地面に叩き付けられながら参道を進んでくると、見物に訪れた人たちからは、大きな歓声が上がりました。



## 楽しいイベントがいっぱい ～博物館フェスタ～

毎年恒例の博物館フェスタが11月3日に行われました。この催しは、博物館のPRと利用団体・利用者間の交流を目的にスタートして11回目。会場では、古書市やフリーマーケット、はた織り体験、人形劇、親子体験チャレンジなど多くのイベントが開催され、親子連れなどでにぎわいました。

親子体験チャレンジで「かざぐるま」を作った女の子は、羽に風があたり、勢いよく回りだすと、満面の笑みをうかべて見入っていました。



## 柔軟な発想で 大学生がユニーク政策を提言 ～大学ゼミナール 市活性化プレゼン大会～

歴史ある温泉街を次代に残していくために何ができるのか。大学生がアイデアを競うプレゼン大会が11月20日、板室健康の湯グリーンで開かれました。今年で7回目を迎え、「板室温泉」にテーマを絞って開催した今回は、関東の10大学から計11ゼミが参加。学生たちは8月頃から那須塩原に足を運び、フィールドワークを通してまちに潜む課題を分析し、グループで考えた活性化策を観光協会や旅館の関係者などに提言しました。



那須塩原市  
 板室の乱  
 #板室の乱  
 ↑提案された「板室の乱」ポスター。メンバーで意見を出し合い作成

グランプリは「～板室温泉 vs 塩原温泉～で知名度アップ」を提言した東洋大学経済学部の澁澤ゼミ。全国的にも認知度の高い塩原温泉を利用し、「板室の乱」と銘打って2つの観光地をセットでPRする企画。キャンペーンに合わせて専用のポスターを制作するほか、両方の観光スポットを巡って撮影した写真をSNSに投稿し、宿泊先に提示すると特典が受けられるという提案に、実現性の高さが評価された



表彰される東洋大学・澁澤ゼミのメンバー。入賞したゼミには、那須塩原ブランド品や板室温泉の宿泊券などが贈られた。国際医療福祉大学の学生も参加した